

ドリーム保育園における自己評価・自己点検

令和4度

- 幼保連携型認定こども園第1ドリーム保育園
- 幼保連携型認定こども園第2ドリーム保育園

- A: たいへんよい
- B: よい
- C: 一部検討を要す
- D: 改善を要する

◎教育・保育計画の構成と実施に関する評価

理念や基本方針は、幼保連携型認定こども園の教育・保育に対する考え方や姿勢を示すものです。これが明確にされていることによって、職員は自らの業務への意識づけや子どもへの接し方、教育・保育サービスに対する具体的な取組みを行う事ができるようになります。また、実践する保育サービスを保護者に分かりやすく伝えることが保育所に対する安心感や信頼を与えることにもつながります。

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・ 保 課程 ・ 目 標	(1) 教育・保育実践の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標をせっていしているか。	○				
	(2) 教育・保育課程は、各施設や地域の特色を生かしているか	○				
	(3) 保育課程・目標は、社会の要請や保護者の意向を考慮し、作成しているか。	○				
	(4) 課程・目標は、前年度を生かしているか。	○				
	(5) 教育・保育課程は、全職員で共通理解を図っているか		○			
教育・ 保 育に つ い て	(1) 計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	(2) 教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境構成を意識した教育・保育や課程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に使用しているか。	○				
	(5) 評価結果をもとに教育・保育の改善に努めているか。	○				
	(6) 一日の流れ（デーリープログラム）は現行で良いか。	○				
行 事 に つ い て	(1) 行事の種類や実践回数は適切か。	○				
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分いかしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的に活動しているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎保育環境と教育・保育内容に関する評価

幼保連携型認定こども園は、子どもたちが心地よく過ごす生活の場にふさわしい環境を整えていくことが大切です。様々な面から保育環境を整備し、子どもたちが園で快適に過ごせる様に配慮すること。教育・保育内容については、子ども一人ひとりへの理解を深め、受容することが基本です。様々な保育の取り組みがありますが、まず、子どもと保護者の人権を尊重した上で、子ども一人ひとりの家庭環境、身体能力、精神成長の違いを把握して保育をすすめることが大切です。

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育環境について	(1) 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している。	○				
	(2) 室内外の衛生面・安全面に配慮している。	○				
	(3) 生活の場にあった保育者の声、音楽など音に配慮している。	○				
	(4) 各保育室に子どもたちの発達や興味関心にあった遊具がいつでも手に取れるように配置している。	○				
	(5) 子どもたちが、季節感を味わえるような工夫をしている。	○				
教育・保育内容について	(1) 子どもに分かりやすい温かな言葉使いで、穏やかに話している。	○				
	(2) 子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受けとめ、状況に応じて対応している。	○				
	(3) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○				
	(4) 子どもの様々な活動を自由に体験できるような環境の整備がされている。	○				
	(5) 生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している。	○				
	(6) 散歩や行事などで、子どもたちが主体的に地域の人に接する機会を作っている。	○				
	(7) 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている。	○				
	(8) 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。	○				
	(9) 絵本に読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。					
	(10) ケンカの場合では、危険のないように注意しながら子どものプライド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するように援助している。	○				
	(11) 順番を守るなど、社会的ルールを身に付けていくように配慮している。	○				
	(12) 広く社会性が身につくよう、異年齢の子どもたちや様々な年齢層の人たちと交流している。	○				

◎教育・保育の計画と実施を支える諸条件に関する評価

幼保連携型認定こども園の機能や役割が増す中で、組織の一員として今以上にその役割をしつかり担うことが求められています。また、教育・保育要領の中では、幼保連携型認定こども園を運営するための

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 能動的、合理的な運営組織になっているか。	○				
	(2) 職務内容が明確で、共同できる体制になっているか。	○				
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				
	(4) 係や仕事の分担・仕事の割り当ては適切か。	○				
	(5) 教育・保育の質の向上や改善のための取組について、意図的・計画的に実施しているか。	○				
運 営	(1) 各種会議を適切かつそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に「かかわっているか。」	○				
	(2) 運営に関する打ち合わせの回数、時間、内容は適切か。	○				
	(3) 運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証、見直しをしている。	○				
役 割	(1) 園長は自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○				
	(2) 園長は質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	○				
ク ラ ス 経 営	(1) クラスの目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
	(2) 個人別・クラスの目標は、乳幼児の実態に即しているか。	○				
	(3) クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
	(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育をおこなっているか。	○				
	(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。）	○				
保 健 ・ 安 全 指 導	(1) クラス運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	○				
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関などと連携を図っているか。	○				

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
研修・研究	(1) 研修の計画・運営は適切か。		○			
	(2) 研修・研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
	(3) 研修・研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。	○				
	(4) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実をはかっているか	○				
	(5) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			
情報	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
保健・安全指導	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者に対する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	○				
入所児童の人権尊重	(1) 子どもの思いやりや意見を、はっきり言うことが出来るよう配慮し、それを尊重している。	○				
	(2) 一人ひとりの子どもの心身の状態、生活習慣や家庭の事情、考え方の違いを知り、それを尊重する心を育てる。	○				
	(3) 子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮している。	○				
	(4) 日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている。	○				
	(5) 保育者は子どもの人権尊重を意識して保育を行っている	○				